

開墾地土壌の熟畑化過程に関する研究

一般分析及び土壌微生物数の変化

真鍋武郎・糸瀬貞義・森岡恒三

著者等は畑土壌の熟畑化過程に関する研究の一環として未墾地、未熟畑と熟畑土壌につき一般分析及び土壌菌数につき比較調査して次の様な結果を得た。

1. 灼熱損失は熟畑化により増加した。
2. pH(H₂O, KCl)は熟畑化により高く置換酸度は低くなった。
3. 全窒素、熱 HCl 可溶 P₂₀₅、置換性全塩基、置換性 CaO は熟畑化により増加し C/N 比は減少した。
4. 全炭素、熱 HCl 可溶 K₂O、N, P₂₀₅ 吸収係数は増加したものと減少したものとがあり其の差は顕著ではなかった。
5. 水中沈定容積は熟畑化により減少した。
6. 最大容水量、比重には顕著な差は認められなかった。
7. 細菌、糸状菌数及び細菌/糸状菌比は熟畑化により増加した。